

イベント計画素案（2013.09.20）

<G 空間 EXPO 2013>

地域の課題を解決するためのアイデアを考えよう！

～アーバンデータチャレンジ東京 2013 × Linked Open Data Challenge Japan ～

社会基盤情報流通推進協議会では、自治体を始めとする各機関が保有するデータの公開・流通促進に向けた具体的な取組として、各機関が提供可能なデータの活用に効果的なツール、有効なデータ利活用方法等を募集する「アーバンデータチャレンジ東京 2013（UDCT2013）」に取り組んでいます。UDCT2013 の一環として、この度、これまでに確認した地域の課題を解決するためのアイデアについてディスカッションを行います。

また、今回のイベントでは、オープンデータの活用推進という点において、目的を共有する Linked Open Data Challenge Japan と協同で実施します。なお、Linked Open Data Challenge Japan においても「Linked Open Data チャレンジ Japan 2013」を開催し、オープンデータを活用した作品を募集しています。

記

1. 日時 平成 25 年 11 月 16 日（土） 10:30～13:00 **※13：30 には要完全撤去**
2. 場所 日本科学未来館 イノベーションホール
http://www.cns-cybozu.jp/test/g-expo2013_renew/access/index.html
3. 主催 社会基盤情報流通推進協議会
Linked Open Data Challenge Japan
4. 次第
 - 【Ⅰ 「アーバンデータチャレンジ東京 2013」及び「LOD Challenge2013」の取り組み概要】
 - 10:30-10:45 開会挨拶および「アーバンデータチャレンジ東京 2013」概要説明
東京大学生産技術研究所准教授・関本義秀
 - 10:45-11:00 「LOD Challenge2013」概要説明
Linked Open Data チャレンジ Japan 2013 ○○調整中
 - 11:00-11:10 質疑・議論
 - 【Ⅱ 地域の課題を解決するためのアイデアの議論】
 - 11:10-11:20 ディスカッションの進め方についての説明
○○○
 - 11:20-12:20 グループディスカッション（アイデア出し+取りまとめ）
 - 【Ⅲ アイディアの共有】
 - 12:20-12:55 グループワークの結果共有 **(3分×9グループ)**
 - 12:55-13:00 今後の予定・閉会挨拶 東京大学生産技術研究所准教授・関本義秀

5. お申込みフォーム：URL：[調整中](#)

※定員：80名程度（定員になり次第締切ります）

※本イベントは全員参加型のグループディスカッションを予定しております。

※参加費：無料

※キャンセル等、のお問合せにつきましては、下記事務局までお願いいたします。

お申込みフォームから登録できない場合についてご連絡ください。

アーバンデータチャレンジ東京 2013 事務局：core@aigid.jp

（キャンセルされる場合は、その旨ご連絡よろしくお願いいたします。）

6. 関連 URL

社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）

<http://aigid.jp>

アーバンデータチャレンジ 2013

【HP】<http://aigid.jp/GIS/udct/2013/index.html>

【Facebook】<http://www.facebook.com/UDCT2013>

Linked Open Data チャレンジ Japan 2013

【HP】<http://lod.sfc.keio.ac.jp/challenge2013/>

【Facebook】<http://www.facebook.com/LOD.challenge.Japan>

なお、一部の講演については [Ustream](#) での中継を予定しています。

<http://www.ustream.tv/channel/csisi-06>

以上

<ディスカッションの進め方（素案）>

<留意事項>

時間が限られる（時間超過ができない）ため、速やかに進行すること

(1) グループ分け

- 課題リストの分類に合わせて以下 9 グループで実施
⇒人口問題、まちづくり、インフラ、防犯、防災、交通、農業、教育、観光
- グループ分けの方法 **（確認事項）**
⇒申し込み時に自選 or その場で振り分け（人数の片寄り、時間超過の可能性）
当日受付時にランダムに振り分け（専門分野以外に配置される可能性あり）

(2) ディスカッションの方法

- 以下の手順で実施することを想定
※前回同様にファシリテーターと記録係を設定
- ① 議論するアイデアの種の選定（15分）
⇒これまでの UDCT イベント成果（課題リスト、これまでのディスカッション成果）、
LOD の Idea Link Data のアイデアを紹介
※分野ごとに事前に整理（Idea Link Data のアイデアはキーワード等であらかじめテーマごと分類してリスト化）
⇒それらを参考に着目する対象を数事例選定
- ② アイディアの深堀（30分）
⇒UDCT や LOD で提供可能なデータリストを紹介
⇒利用可能なデータ等を参考に解決のためのアイデア（データの加工やアプリケーションのイメージの具体化）
- ③ 取りまとめ（15分）
⇒グループ内での取りまとめ（10分）
⇒発表者準備（5分）

(3) ディスカッション成果の共有

- 前回同様、グループごとに発表
⇒時間が限られるため、3分/グループを厳守とする（全体で 30分）

(4) 席配置等

- 最初からディスカッション用の配置とする
- 当日受付時にランダムにグループ分けする場合は、最初から各グループの席に座っていただく（グループ毎に色分を設定して、受付時に色付きの札を渡すなど?）
- 各机にはディスプレイを設置（レンタル?）、PC はファシリテーターの持ち込み